

Q&A

一般質問

市政のそこが聞きたい!

3月議会定例会の一般質問は、17名の議員が48項目について行いました。

◆中村匡志 議員

- 新市長の公約①「駅前子どもステーション（仮称）」の開設による保護者の保育園送迎負担軽減について
- 新市長の公約⑩「おむつの無料配布」について
- 新市長の公約⑪「放課後子ども教室」の全小学校への配置について
- 新市長の公約⑫「全児童生徒の給食費無償化」について
- 新市長の公約⑬「転入者への一定期間住民税軽減」について
- 農地における犯罪とその対策について
- 新市長の増税方針の有無についてあらためて答弁を求める
- 新市長の公約⑮「新白岡の葬儀場建設中止」について（続き）

◆松本栄一 議員

- 小学5・6年の教科別担任制の2022年度導入について
- 防災行政無線の活用について

◆黒須大一郎 議員

- 地域消防力と白岡消防署篠津分署の統合再編について
- シティプロモーション戦略は順調に進んでいるのか
- 地元経済をどうするの
- マイナンバーカードの利活用の展望（構想）は
- 友好都市協定締結から半年、現在の状況と今後は

◆山崎巨裕 議員

- 市独自のPCR検査実施の可能性について
- 少人数学級の今後の見通しについて ○広報しらおかの配布体制について

◆野々口真由美 議員

- 高齢者の足として、普及しつつあるシニアカー利用者についての現状と今後について
- 街づくりと住民参画について ○児童虐待の現状と今後の取組について

◆中川幸廣 議員

- 産後ドゥーラの現状と今後について伺う
- インクルーシブ公園の開設を

◆大島 勉 議員

- 災害時の情報伝達について
- 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について

◆遠藤 誠 議員

- 駅自由通路の掲示板について
- 教育委員会定例会における就学すべき学校の指定変更等について
- 教育委員会定例会における議会の状況報告について
- 教育委員会点検評価のうち委員会の傍聴について
- 休耕田に対する空き地の環境保全に関する条例の適用について

◆関口昌男 議員

- 国民健康保険制度の課題について
- コロナ禍における市民の生活防衛の制度について

◆菱沼あゆ美 議員

- 避難支援について ○多様な人が参画できるまちづくりについて
- 日常生活用具給付等事業の拡充について

◆斎藤信治 議員

- 「スマホ脳」への対策は ○気候変動（地球温暖化）への対応は

◆中山廣子 議員

- 子ども連れの方に親しまれる庁舎について
- 3歳児健康診査における視力検査について ○あくやみコーナー設置について

◆石原富子 議員

- コロナ対策について ○新規採用職員の採用と研修について

◆渡辺聡一郎 議員

- 新型コロナウイルスのワクチン接種と高齢者の支援について
- 企業誘致による財政基盤の確立と産業振興の取り組みについて

◆加藤一生 議員

- 市内の公園・広場の維持管理について
- 市庁舎内の新型コロナウイルス感染症予防対策の状況について

◆石渡征浩 議員

- 「参画と協働のまちづくりに向けて今後取り組むべきこと」について

◆細井 公 議員

- 市内商業者への経済支援策について

※一人につき2項目までを要約して掲載しています。 ※提出された原稿を尊重し、表現は統一されていません。



中村匡志 議員
(創政会)

問 大野知事と藤井市長の公約実現力の違い

藤井市長の公約15項目を行程表と予算の裏付けの観点からチェックした結果、実現が期待できる公約はわずか3項目（2割）のみ。これに対し、大野知事は就任1年4か月で公約129項目中106項目（8割）を行程表通りに進めている。公約実現力の違いの原因は。

答 真に必要な事業の実現に向けて取り組む

今後、各事業を実現させるため、歳出削減、事務執行体制の見直し等の行財政改革に着手することで、財源の確保に取り組む。引き続き議論を重ね、議員や市民の皆様のご意見等を伺いながら、丁寧に、そして着実に事業の実現に向けて取り組んでいく。

問 昨年の農地犯罪の被害状況・検挙状況は

昨年は全国的に農地犯罪が相次ぎ、市内の事件も新聞やテレビのニュースで取り上げられた。市内の被害と検挙の状況は。市として原因をどのように分析し、どのような対策を講じるのか。ライトやカメラの設置も検討するのか。救済制度を構築する考えはあるか。

答 農業者の収入保険への加入を推進する

2年中の農作物や各種農業用施設の盗難被害件数は12件、うち1件が検挙されている。近隣市町や警察などの関係機関への相談を通じて、盗難対策を検討していく。農業者には、各自が盗難被害に備えるよう、収入保険を周知し加入を推進していく。



被害に遭った農地